

20170219 「偉くなりたい者」

目標：他者に仕える人の方が偉いという価値観を知り、その最高の模範が主イエスご自身であることに気付く。

聖書箇所：マルコ10：35～45 時間：10分

暗誦聖句：「人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」（マルコによる福音書10：45）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：主イエスが革命的な社会形成を意図していたかどうかは、子供たちに重要ではない。この世で生活していたら決して出会わない価値観と、驚きの出会いをさせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>弟子のヤコブとヨハネが、イエス様にお願いをしました。</p> <p>皆だったら、イエス様にどんなお願いがありますか。</p> <p>ヤコブさんたちの願いは、自分たちをイエス様が栄光を受けられた後、右と左に座らせてほしいというものでした。</p> <p>皆さんは、隣の人がイエス様にそういう願いをしたら、どう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お金持ちになりたい ・偉い人になりたい ・世界の王 ・病気の友達が治るようにお願いしたい 	<p>ヤコブとヨハネについてのあらすじを押さえる。</p> <p>願いを正直に申し上げることは、幼いソロモン王の例にもあることであり、私たちに許されていることである。色々挙げさせたい。その願いが整えられていくのは、その後である。</p> <p>この願いは、他の人よりも自分たちを高い地位に据えてほしいという意味であることを説明し、次の質問に繋げる。</p> <p>一通り出させたら、弟子たちはヤコブらの言葉を受けて実際に怒り始めたことを述べる。</p> <p>38-40節を読むか、その内容を咀嚼し伝える。ヤコブ達が願いを自分でわかっていないと言われたことと、(彼らの苦難の預言)、願いをかなえるのは父なる神だということである。</p>
課題探究	6分	<p>では、イエス様は、どう言われたのでしょうか。</p> <p>続けてイエス様は「偉くなりたいと思う者は、仕える人になりなさい」「頭(かしら)になりたいと思う者は、すべての人の僕になりなさい」と言われました。</p> <p>どういう意味でしょうね。</p> <p>イエス様は、人に仕えられる人よりも、人に仕える人の方が、偉いんだよ、尊いんだよ、大切なんだよと言われたのです。</p> <p>イエス様がこの地上に来られたのも、仕えるためだと以前お話ししましたね。</p> <p>ここでイエス様は、自分がこの世界に来たのは、ただ仕えるだけではなく、仕えつくして、自分の命をみんなに与えるためだと言われました。</p> <p>私たちも、イエス様ほどはできなくても、人に仕える大切さをイエス様から学びたいと思います。</p> <p>皆が仕えあう世界とは、どのようなすばらしい世界でしょうか。みんなが仕えるイエス様に学ぶとき、そういう世界になるのです。</p> <p>暗誦聖句</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いやだ ・ずるい <ul style="list-style-type: none"> ・偉くなりたいと思ったら、仕える仕事に就くようにする。 ・偉くなりたくなかったら、仕えない仕事でよい。 ・解らない。 	<p>板書する。</p> <p>解らないと答える可能性は高い。また、現代では、偉くなりたくないという価値観も、子供たちの中にはある。偉い、偉くないとはどういうイメージのものを思い描いているのか聞いてみると、やり取りに幅が出るだろう。</p> <p>一段だけの階段と、その上段下段に人を描き、図解する。「尊い」「大切」などを用いて、偉い偉くないの考えから脱却させたい。</p> <p>クリスマスの時、このことについては触れているので、思い出させたい。</p> <p>イエス様の仕える度合いのすごさを印象付けたい。</p> <p>イエス様に学んで一步を踏み出すのは、弟子としての第一歩である。</p>
まとめ	2分	<p>暗誦聖句</p>		<p>188号のテーマからの反映。</p>